

教科（科目）	家庭（家庭基礎）	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	普通科 1年次～
使用教科書	実教出版 「図説 家庭基礎」				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の5つの資質・能力を育みます ①精神的な自立 ②社会的な自立 ③経済的な自立 ④希望への輝き ⑤ゆたかな情操
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力の育成を目的として、本校の特徴を活かし、次の6つに取り組みます ①安全・安心な空間 ②自己存在感の感受 ③学びの価値の実感 ④PDCAサイクル ⑤教育的資源有効活用 ⑥自己決定する機会

2 学習の到達目標

<p>生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、充實的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人間に生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>

3 指導の重点

<p>① 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、衣食住、消費や環境などについて、社会との関わりを理解する。</p> <p>② 自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身につける。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間に生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけようとしている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決しようとしている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身につけている。

5 評価基準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	人間に生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけようとしている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決しようとしている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身につけている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 考査や実技作品等の分析 ・ 学習プリントや実習・実技等提出物の内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 考査や実技作品等の分析 ・ 授業中の発表、発言やとりくみの観察 ・ 学習プリントや実習・実技等提出物の内容の確認 ・ 授業の振り返り等の記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の発表、発言や授業へのとりくみの観察 ・ 学習プリントや実習・実技等提出物の内容の確認 ・ 授業の振り返り等の記述の分析 などから、評価します。

6 学習計画

	単元名	時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
前期中間まで	1 自分らしい生き方と家族	10	これからの人生をデザインする	・ PDCA サイクルにのっとり生活設計について考える	a b	考査 学習プリント レポート・感想 発言・発表 授業の取り組み
			青年期を生きる	・ 青年期に生き方について自立の観点から学習する	a b c	
			生活を支える労働	・ 生活を支える労働について学ぶ	a b c	
			男女共同参画社会をめざして	・ これからの家庭生活や社会のあり方についてどんな改善が必要か考え、話合う	a c	
			現代の家族	・ 様々な結婚・家族・家庭に意義や機能について理解する	a b c	
			家族にかかわる法律	・ 家族に関する法律の理念や現在の動きについて理解する	a	
	2 子どもとかわる	10	子どもの誕生	・ 青年期の健康が将来の生まれてくる子どもにつながることを知る	a	考査 学習プリント レポート・感想 発言・発表 実習内容 授業の取り組み
			からだの発達	・ 子どもの身体に成長や発達の順序、子どもの世界観について学ぶ	a	
			かわりの中での発達	・ 人の発達において、保育や人のかかわりがいかに重要であるかを、事例をもとに考える	a b c	
			子どもの生活習慣と健康	・ 子どものよい生活習慣はすこやかな成長を促すことや、子どもの健康管理や安全対策の重要性について学ぶ	a	
			子どもの食生活・衣生活	・ 子どもの食生活・衣生活について学習する	a	
			子どもと遊び	・ 子どもの遊びが豊かになるにはどうしたらいいか考える	a b c	
			親になることを考えよう	・ 子どもを生み育てる意義と人間関係の過程について考える	a b c	
			すこやかに育つ環境と支援	・ 子育てにおける社会環境について考える	a b c	
子どもを守る法律・生徒	・ 子どもの権利とその歩みについて学習する	a				
前期中間考査	1			a		

前期期末まで	3 高齢者とかかわる	8	高齢社会に生きる	・高齢者とかかわることの意義、高齢社会の現状と課題について学習する	a	考査 学習プリント レポート・感想 発言・発表 授業の取り組み
			高齢者を知る	・高齢者の心身の変化と生活について学習する	a b c	
			高齢者のサポートと介護の心	・高齢者を支えるための心持ちについて考える	a b c	
			高齢社会を支えるしくみ	・介護保険制度やこれからの介護の課題について、事例を用いて考える	a b c	
前期期末まで	4 社会とかかわる	2	共に生きるために	・福祉、ソーシャル・イラクルージョンの考え方を学ぶ	a	考査 学習プリント レポート・感想 発言・発表 授業の取り組み
			社会保険制度―公助―	・社会保険制度とその目的について学ぶ	a	
			社会の一員としての私たちの役割―互助・共助―	・地域福祉の担い手を考え、助け合うことについて学ぶ	a b c	
前期期末まで	夏休み ホームプロジェクトと学校家庭クラブ				b c	家の行事食と日常食について
	5 衣生活をつくる	5	人と衣服のかかわり	・人と衣服のかかわりや、衣服の機能について学習する	a b c	考査 学習プリント レポート・感想 発言・発表 実習内容 授業の取り組み
			健康で安全な衣服	・快適で安全な衣服について学習する	a b c	
			衣服素材の種類と特徴	・繊維の種類と特徴、糸や布について学習する	a	
			衣服素材の性能と改善	・衣服素材の性能や加工・改善について学習する	a	
			衣生活の計画と購入	・衣服の表示を見ながら、衣服購入のポイントについて考える	a b c	
			衣服の管理	・洗濯の種類と方法、洗剤の働きについて学ぶ	a c	
			家庭での洗濯・保管	・家庭での洗濯方法・保管の方法などについて学ぶ	a	
前期期末考査	1			a		
後期中間まで	5 衣生活をつくる	5	持続可能な衣生活をつくる	・衣生活と資源・環境とのかかわり、環境に配慮した衣生活について学習する	a b c	学習プリント 被服実習作品 授業取り組み
			被服製作実習	・被服製作に取り組む	a	
	6 食生活をつくる	11	私たちの食生活と健康	・食えることと健康のかかわり、現代の食生活の変化と問題点	a b c	考査 学習プリント レポート・感想 発言・発表 実習内容 授業の取り組み
			5大栄養素	・栄養素と水について学習し、からだのつながりについて考える	a b c	
			その他の食品	・調味料や香辛料、さまざまな加工食品について学ぶ	a b c	
			食品の選択と表示	・食品の旬や選択する際のポイント、食品の品質表示について学ぶ	a	
			食品の衛生	・食中毒の種類や衛生的な管理を学ぶ。食品添加物の使用の目的や安全性について学ぶ	a b c	
			食の未来と環境への取り組み	・安全なものを食べるための取り組み、環境への取り組みを学ぶ	a b c	
			食品群別摂取量のめやす	・食事バランスガイドを見ながら、何をどれだけ食べればよいのかを考える	a	
			献立作成	・献立作成のポイントやライフステージを考えた献立作成を学ぶ	a b c	
調理実習	・調理の一連の流れを実践しその理論やコツを学習する	a				
後期中間考査	1			a		
	7 住生活をつくる	7	人と住まいのかかわり	・住まいの機能や文化、生活様式について学習する	a b c	考査

後 期 期 末 ま で			平面計画からみた住空間	・基本的な平面図の読み取りを学習する	a b c	学習プリント レポート・感想 発言・発表 授業の取り組み
			ライフステージと住まいの計画	・住まいにおけるバリアフリーやユニバーサルデザインについて学習する。ライフステージやライフスタイルに応じた住生活について学習する	a b c	
			健康に配慮した住まい	・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気・騒音・しゃ音、冷暖房などの要素を学習する	a	
			安全な住まい	・災害や家庭内事故とその対策について学習する	a b c	
			これからの住まい	・さまざまな住まい方やまちづくりの現状について、学習する	a b c	
後 期 期 末 ま で	8 経済的に自立する	3	日々の収入・支出を把握する	・家計の構成（収入・支出）を学習する	a	考査 学習プリント レポート・感想 発言・発表 授業の取り組み
			社会と家計の変化	・現代の家計の特徴について学習する	a b c	
			長期的な経済計画を立てる	・生涯を見通した経済計画と管理について学習する	a b c	
	9 消費行動を考える	5	契約と主体的な消費行動	・さまざまな契約や主体的な消費行動について学習する	a b c	考査 学習プリント レポート・感想 発言・発表 取り組み
			多様化する販売方法と問題商法	・多様な販売方法や問題商法の種類と対処法について学習する	a b c	
			消費を守る制度・法律	・消費者と事業者の間の力の差を埋めるための制度や法律を学習する	a	
多様化する支払い方法			・多様化している支払い方法や多重債務の予防と対処について学習する	a b c		
・消費者に権利と責任			・近年の消費者問題を学び、問題解決のための法律を学習する	a		
・持続可能な社会をめざす取り組み	・持続可能な社会に向けて、自らの行動や選択を見つめ直す。	a b c				
後期期末考査	1				a	

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント（毎時間） ・授業プリントファイル（年 4 回程度） ・実習課題 ・長期休業課題 等
--

8 担当者から一言

<p>必履修科目です。出席時数が不足しないよう、授業に出席しましょう。3つの自立（精神的・社会的・経済的）ができるように、自分の生活を見直して、問題解決ができる力を身につけていきます。</p>
--